

龍
拔
見
德
街
論
叙

大藏
翻譯課

2981



114
A1127



龍溪見德新論

八尾正文詳

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

此小冊子ノ起稿ニ着手セシハ實ニ一千八百七十年ノ秋在リ
 茲ニ二周有餘ノ星霜ヲ経テ禍漸ク成レリ瑣々タル小冊子ニシ
 テ斯ク多クノ歲月ヲ費ス世間或ハ其ノ遲緩ヲ疑フモノアラン
 然リト云ハ是レ決シテ余カ怠慢ニ出テ、然ルニアラズ苟クモ
 著述ニ從事スルヲ得ルノ限リハ恒ニ孜孜トシテ須臾モ之レヲ
 忽カセニセスト云ハ如何ニセン或ハ疾病ニ侵サレ或ハ世事ニ
 妨ケラレ巴ムヲ得スシテ為メニ筆硯ヲ廢セシ一亦屢々ナリ
 是ヲ以テ論趣往々前後ニ亘リ彼ノ律士カ所謂同時ノ見解ニ出
 デザルカ如キモノ間々之レニ免カレス元來此比喻證如時
 々轉變シ今年ニ在リテ的確ノ証例ニ時ニ至リテハ既ニ無效
 ニ屬スル一アルハ理數ノ自然ナリ加フルニ此ノ書ノ如キハ治

機轉變アル題目ニシテ其ノ著述ノ日ヲ稱ル久シキヲ以テスレ
バ已ムヲ得スシテ時々適テ證例ニ前後異同アルヲ免カレス讀
者幸ニ焉ヲ諒セヨ

此書發兌ノ日ニ當リ世人ノ愛重ヲ博シ難キハ固トヨリ余ノ知
ル所ナリ此ノ書ハ英國銀行、合本銀行、私立銀行及ヒ為替取
扱會社ノ四社ノ景況ヲ論スルヲ以テ目的トストモ余カ所説
果シテ其ノ実況ニ背馳セザル乎未タ知ル可カラズ是レ余ノ深
ク恐レ、所ナリ然レモ余カ所説ハ決シテ倉卒ノ考案ニ成ルニ
アラス又全ノ実事ニ離及セルモノニアラズシテ龍坂兒徳街ニ
於テ漸次成熟セルモノナルハ余ノ敢テ公言スルヲ得ル所ナリ
然リ以テ其ノ所説中或ハ世人ノ意ニ觸ル、言ヲキヲ保難
然リトモ余カ偏ハニ実況ヲ論シ餘蘊ナキヲ旨トスレハ責メ
テハ其ノ稱讚誹議ノ斷案係頗ニ出テザルノ信憑ヲ世人ノ望マ

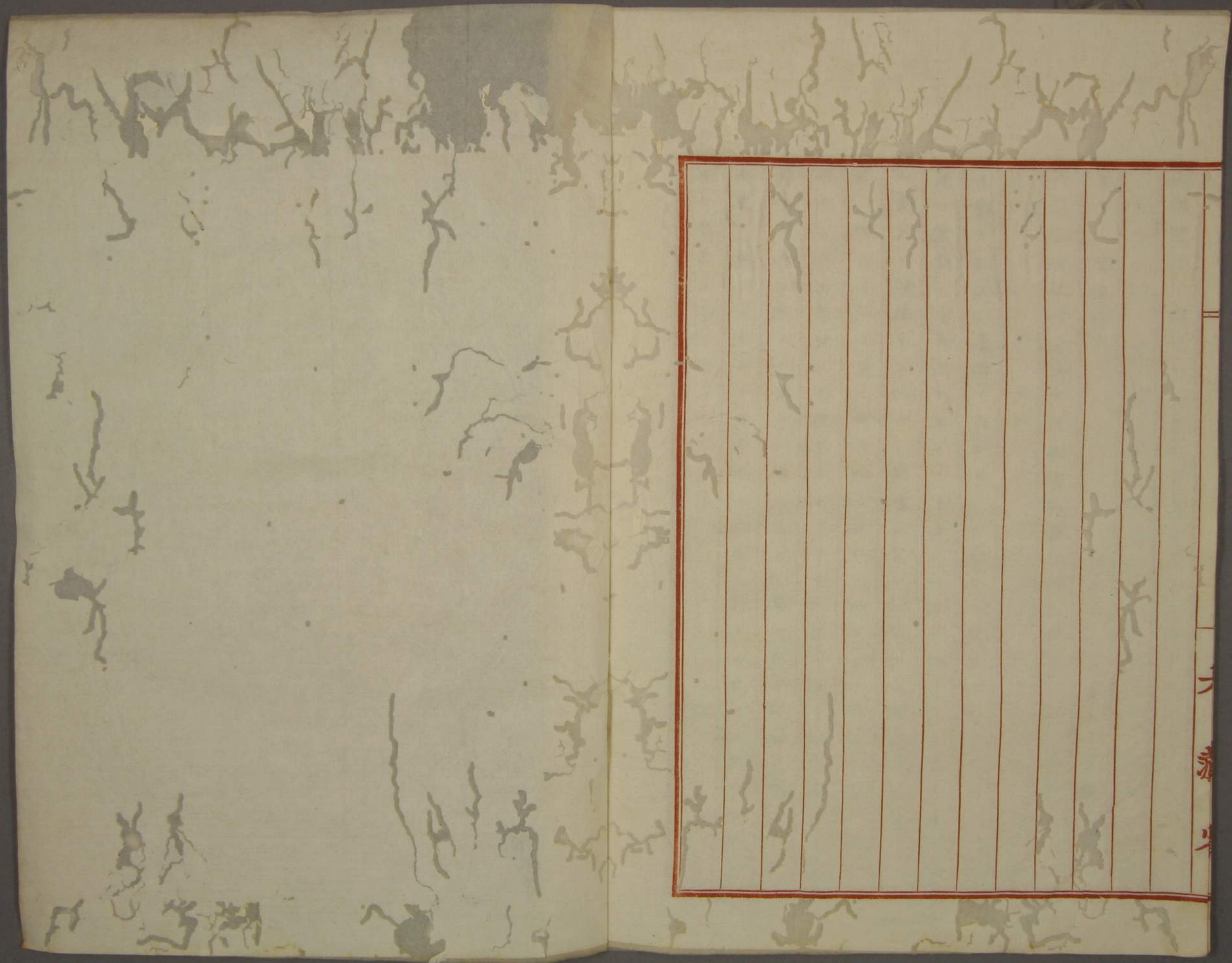
ント欲スルナリ

此書ノ稿已ニ成ルノ日余偶マ疾病ニ侵サレ自カテ筆硯ヲ執テ
修整ノ札ニ憑ルヲ私ハス然リ而シテ余既ニ罪ヲ成稿ノ遅延ニ得
今復タ發兌遅延シテ秋季ニ至ルアラバ其レ何ヲ以テカ罪ヲ讀
者ニ謝セン是レ余カ當時頗ル病フル所ナリシ然レニ幸ニシテ
一友人ノ懇親ナル助カヲ得竟ニ發兌ヲ今日ニ見ルヲ得タリ
其ノ惠賜タル豈或ウナランヤ爰ニ一言ヲ附シ以テ此ノ書校訂
ノ勞ノ友人ノ惠賜ニ出テタルヲ明カニ讀者ニ告ク

一千八百七十三年第四月二十六日「ウインブレトン」

ニ於テ
ワルトレ、バジヨット識、

大蔵省



六
清
光

